



図工室から VOL1

令和6年5月20日

馬橋小学校

馬橋小学校の図工科の教育にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。
この「図工室から」で本校の図工の授業における子どもたちの取り組みや作品を紹介します。今年度は12月に展覧会がありますので、そこに向けた制作の過程がお伝えできればと考えています。

目や手先、体全体で色や形のよさを見つけ、味わうことは図工において大切な学びの姿です。学びの結果である作品の出来不出来に目が行きがちですが、より大切なのは目には見えない、子どもの中で生まれた感動です。夢中で造形活動に取り組む中で、子どもたちが自分らしい感性を発揮できる図工の授業を目指して日々取り組んでいます。家庭、地域の皆様にも、こちらに掲載する写真や文章を通して、子どもたちの生き生きと学んでいる様子が少しでもご覧いただければ幸いです。

図工専科 直本 鉄平



第1回の「図工室から」は、3年生の「発見！くるくるワールド」を紹介します。

専科の授業が始まり、3年生はワクワクしながら図工室に来て、毎回楽しく図工の学習に取り組んでいます。4月から5月にかけて、絵の具の正しい扱い方、混色の仕方を学んでいます。子どもたちは、理科の実験のように、混色によって生まれる色に新鮮な驚きを感じながら絵の制作を行っています。

「発見！くるくるワールド」は、割りピンの回転する仕組みを生かして、回る絵を制作する題材です。どんな形の紙をどんなふう回転させると面白いのか、アイデアを膨らませて作品を作っていきます。絵の具の着色作業では、前の題材で学んだ色の組み合わせや混色の方法、水の使い方などを生かして自分らしい表し方を見つけます。

どんな想像の世界が絵に表れるかとても楽しみです。



馬橋小学校 図工専科 直本 鉄平